

公益社団法人 日本電気技術者協会の現状

令和元年9月9日

(公社)日本電気技術者協会とは

2

- 設立** 昭和30年(1955年)
- 目的** 電気技術者の相互連携を図る組織で
- ①相互啓発
 - ②その知識と経験を基にした新進電気技術者の指導育成
 - ③電気技術の普及発達を図り産業振興に寄与
- 会員** 個人会員7,119名(電気主任技術者等)
維持会員948団体(電気事業者など)

主な事業

3

- 電気主任技術者会議、技術講習会・見学会などの開催
- 技術相談の実施
- 音声付き電気技術解説講座の公開
- 月刊技術誌「電気技術者」の発刊、配布
- 協会への功績があった者に対する表彰
- 電気技術者同士の交流

新しい取り組み

近年における自然災害の影響や再生可能エネルギーの利用拡大、設備の高経年化を踏まえると、電力供給システムを支える電気技術者の重要性はますます大きくなっており、電気技術者の継続的な技術力の維持・向上が重要

このため、①新技術、②新しい制度やその見直し、③最近の事故事例などについて、継続学習を促進するため、「講習受講証明制度」を実施

講習受講証明制度の概要

5

定期的実施している講習会への参加者に対して、
①総合、②電気法規、③実技及び④技術
の講習分野で、5カ年間に合計8単位を受講した会員に
つき、希望者に「会長名の受講証明証」を無料で交付
する制度

実施する研修会を対象に、平成29年度第4四半期か
ら、関東支部において試験的实施し、全国展開に向け
て検討中

(参考)証明制度の関東支部における平成30年度実施状況

(参考)

証明制度の関東支部における平成30年度実施状況

分野・科目		受講者	うち、会員の受講者	
			受講者数	制度参加者
総合	電気主任技術者会議(10所)	3,808	783	177(22.6)
法規	電気関係法規の講習会	23	23	13(56.5)
実技	高圧受電設備の操作保守体験	62	54	25(46.2)
	保護継電器のリレー試験	59	52	25(48.0)
	比率差動継電器の特性試験	31	28	14(50.0)
	PAS(UGS)の動作原理	16	16	3(18.7)
	シーケンス制御基本 回路配線	19	19	5(26.3)
	シーケンサー制御 基本と応用	18	18	6(33.3)
技術	受電設備の短絡保護	19	16	8(50.0)
	高低圧電気設備の雷害予防	34	33	24(72.7)
	太陽光発電技術	50	39	24(61.5)
	設備保全対策	25	24	21(87.5)
	高低圧の地絡保護の整定	50	46	16(34.7)
30年度計		4,214	1,152	361(31.4)

今回の検討にあたっての要望事項

- 電気技術者の重要性が社会に十分に認知されることが、将来の人材確保につながるものと期待されることから、国においては認知度向上に取り組むことを期待
- 現在実施している証明制度は、まだ試行期間ではあるが、継続学習が広く行われていくためには、国の認知、支援、さらには国の制度の一部に位置付けられることが有効であり、そのようになることを期待